

区を単位とした在宅医療推進に向けた取組の試行

【事業概要】

本市において、在宅医療を推進するための全市的な取組とともに、試行的に、行政区を単位として、①診診連携による在宅医の負担軽減、②多職種での緊密な連携の推進、③市民啓発などの課題解決に向けた各区医師会の発意による取組を試行する。

【事業の内容】

- ① 在宅医のグループ化に向けた活動を検討する場を設け、ルール化を図り試行を行い、一定の評価を行う。
- ② 多職種で、事前に会議の内容を検討し、いわゆる「顔の見える関係会議」等を開催したり、多職種連携等をテーマとした講演会、勉強会を開催する。
- ③ 市民啓発を行う。

上記の①～③の中から、各区医師会を中心に、行政区単位で事業計画を立てて活動を推進していく。

平成26年度の各区における取組状況(平成27年3月31日現在)

	区	取組の分類	取組の概要
1	川崎区	②多職種連携	医療・介護サービスの円滑な提供をめざし、区内の医療・介護従事者の互いの業務への理解を高め、顔の見える関係づくりに向けて、多職種による協議(10/3・2/23)を行うとともに、グループワーク等を行う(10/30・3/26)。
2	幸区	②多職種連携 ③市民啓発	多職種による誤嚥性肺炎の予防対策の研究会において、スキルアップセミナーの開催(年6回)とともに、市民公開フォーラムを開催(7/5)し、さらに、在宅医療の普及に向けて、市民公開講座を開催した(11/15)。
3	中原区	②多職種連携	多職種による互いの業務の理解、円滑な連携と統合に向けて、多職種による協議会を開催(10/15・11/19)するとともに、グループワーク等を行う「多職種に依る顔の見える関係会議」を開催した(2/15)。
4	高津区	②多職種連携	多職種の現場での体験を共有し、知識を深め、顔の見える連携をめざし、事例検討会(10/16・2/19)や関係団体代表者による連携会議を開催する。
5	宮前区	②多職種連携	区学術講演会の場を活用して、在宅医療技術の習得に向けた講演会を開催(1/22)するとともに、区内医師会員へのアンケートを実施。
6	多摩区	②多職種連携 ③市民啓発	在宅療養のみならず住民の健康と看取りの相談窓口及び連携を目標に多職種による「チーム・たま」を設立。多職種の代表者会議(10/1・12/10)及び「チーム・たま講演会」(1/28)を開催した。
7	麻生区	①診診連携	在宅医療に係る医療機関を増やしていくために、在宅医療に対する知識を深めるための勉強会を開催し、具体的なグループ化に向けた仕組み等を検討する(9/19・12/16・1/30・2/19)。

①川崎区の概況

(H26.10.1現在)

※人口については、住民基本台帳による。

・人口	222,764人	・病院	12か所	2,709床
・高齢者数・高齢化率	48,033人(21.6%)	・在宅療養支援診療所	16か所	
・要介護認定者数	9,297人	・地域包括支援センター	9か所	

川崎区の取組状況

(H27.3.31現在)



(第1回「顔の見える関係会議」(10/30))



(第2回在宅療養推進協議会(2/23))

取組の概要・参加団体

②多職種連携

医療・介護サービスの円滑な提供に向けて、区内の医療・介護従事者の互いの業務への理解を高め、顔の見える関係づくりに向けて、グループワーク等を行う。

医師会、訪看連絡会、ケアマネ連絡会、歯科医師会、薬剤師会、地域包括支援センター、区保健福祉センター、病院 等

取組状況

10/3 「第1回在宅療養推進協議会」(取組状況の確認、今後の取組の検討)

10/30 「第1回顔の見える関係会議・ワークショップ」(大腸カメラを操作してみよう他)

2/23 「第2回在宅療養推進協議会」(前回の報告、次回の企画検討)

3/26 「第2回顔の見える関係会議・ワークショップ」(嚥下について他)

②幸区の概況

(H26.10.1現在)

※人口については、住民基本台帳による。

- ・人口 159,290人
- ・高齢者数・高齢化率 33,480人(21.0%)
- ・要介護認定者数 6,083人

- ・病院 4か所 657床
- ・在宅療養支援診療所 19か所
- ・地域包括支援センター 6か所

幸区の取組状況

(H27.3.31現在)



(市民公開講座(11/15))



取組の概要・参加団体

②多職種連携、③市民啓発

多職種による誤嚥性肺炎の予防対策の研究会を開催とともに、在宅医療の普及に向けて、市民公開フォーラム等を開催する。

医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪看連絡会、ケアマネ連絡会、地域包括支援センター、介護サービス事業者、川崎南部摂食嚥下・栄養研究会、緩和ケアフォーラム、呼吸ケア研究会、ネットワーク・これ幸、川崎幸病院 等

取組状況

7/5 「川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 市民公開フォーラム」(産業振興会館)
11/15 「市民公開講座(在宅医療ってなあに？～住み慣れた幸区でいつまでも暮らすために～)」(産業振興会館)

※別途、川崎南部摂食嚥下・栄養研究会において、年6回のスキルアップセミナーを開催。

③ 中原区の概況

(H26.10.1現在)

※人口については、住民基本台帳による。

- ・人口 239,767人
- ・高齢者数・高齢化率 35,671人(15.0%)
- ・要介護認定者数 6,339人

- ・病院 6か所 1,768床
- ・在宅療養支援診療所 23か所
- ・地域包括支援センター 6か所

中原区の取組状況

(H27.3.31現在)



(第2回在宅療養推進協議会(11/19))



(後藤先生(東京大学高齢社会総合研究機構)講演)



(多職種に依る顔の見える関係会議(2/15))



取組の概要・参加団体	取組状況
<p>②多職種連携</p> <p>多職種による互いの業務の理解、円滑な連携と統合に向けて、グループワーク等を行う顔の見える関係会議を開催する。</p> <p>医師会、訪看連絡会、ケアマネ連絡会、歯科医師会、薬剤師会、地域包括支援センター、区保健福祉センター、病院等</p>	<p>10/15 「第1回在宅療養推進協議会」(取組状況の確認、今後の取組の検討)</p> <p>11/19 「第2回在宅療養推進協議会」(講演「顔の見える関係づくりをファシリテートするために」後藤純特任助教(東京大学高齢社会総合研究機構)他)</p> <p>2/15 「多職種に依る顔の見える関係会議」(「口腔ケア」「がん末期」の講演と多職種による「低介護力の家族をどう支えるか」についてのグループワーク)</p>

④高津区の概況

(H26.10.1現在)

※人口については、住民基本台帳による。

- ・人口 221,099人
- ・高齢者数・高齢化率 37,066人(16.8%)
- ・要介護認定者数 6,734人
- ・病院 5か所 1,308床
- ・在宅療養支援診療所 21か所
- ・地域包括支援センター 7か所

高津区の取組状況

(H27.3.31現在)



(第3回高津区の地域医療と福祉を考える会(2/19))



(シンポジウム(高津区地域包括支援ネットワーク事業)(12/6))

取組の概要・参加団体	取組状況
<p>②多職種連携</p> <p>多職種の現場での体験を共有し、知識を深め、顔の見える連携をめざし、事例検討会や関係団体代表者による連携会議を開催する。</p> <p>医師会、訪看連絡会、ケアマネ連絡会、歯科医師会、薬剤師会、地域包括支援センター、区保健福祉センター等</p>	<p>10/16 平成26年度「第2回高津区の地域医療と福祉を考える会」(事例検討会)</p> <p>2/19 「第3回高津区の地域医療と福祉を考える会」(事例検討会)</p> <p>※各回とも、事前に幹事会を開催。</p> <p>【参考】12/6 「シンポジウム(みんなで支える安心のくらし～医療と介護ができること～)」(高津区地域包括支援ネットワーク事業)(高津消防署会議室)</p>

⑤宮前区の概況

(H26.10.1現在)

※人口については、住民基本台帳による。

- ・人口 224,280人
- ・高齢者数・高齢化率 40,838人(18.2%)
- ・要介護認定者数 6,523人

- ・病院 3か所 1,874床
- ・在宅療養支援診療所 18か所
- ・地域包括支援センター 7か所

宮前区の取組状況

(H27.3.31現在)



取組の概要・参加団体

②多職種連携

区学術講演会の場を活用して、在宅医療技術の習得に向けた講演会を開催する。

医師会、薬剤師会

取組状況

10/15 事前打ち合わせ(区休日急患診療所)
 1/22 「学術講演会」(「認知症をきたす各種疾患～典型例の紹介」福井俊哉氏(かわさき記念病院))
 (区休日急患診療所)

※区内医師会員への在宅医療に関するアンケートを実施。

⑥多摩区の概況

(H26.10.1現在)

※人口については、住民基本台帳による。

- ・人口 204,668人
- ・高齢者数・高齢化率 37,467人(18.3%)
- ・要介護認定者数 6,352人

- ・病院 3か所 816床
- ・在宅療養支援診療所 15か所
- ・地域包括支援センター 7か所

多摩区の実践状況

(H27.3.31現在)



(第3回チーム・たま代表者会議(10/1))



(市民公開講座(1/28); 新田國夫先生基調講演)

取組の概要・参加団体

②多職種連携、③多職種連携

在宅療養のみならず住民の健康と看取りの相談窓口及び連携を目標に多職種による「チーム・たま」を設立。多職種の代表者会議及び「チーム・たま講演会」を開催する。

医師会、訪看連絡会、ケアマネ連絡会、歯科医師会、薬剤師会、地域包括支援センター、区保健福祉センター、病院、栄養士会、訪問介護事業所連絡会、鍼灸マッサージ協会、警察、消防、介護事業者等

取組状況

10/1 「第3回チーム・たま代表者会議」(アンケートの集計結果報告と今後の取組)
 12/10 「チーム・たま部会キックオフミーティング」
 1/28 「第1回市民公開講座」(講演;「終の住処、あなたなら何処に」新田國夫氏(全国在宅療養支援診療所連絡会長)他)(多摩市民館)(参加者約400名)

※別途、情報IT化部会、団体間連携強化部会、地域連携強化部会を開催。

⑦麻生区の概況

(H26.10.1現在)

※人口については、住民基本台帳による。

- ・人口 172,382人
- ・高齢者数・高齢化率 36,475人(21.2%)
- ・要介護認定者数 6,005人
- ・病院 8か所 1,787床
- ・在宅療養支援診療所 10か所(支援病院 2か所)
- ・地域包括支援センター 7か所

麻生区の実組状況

(H27.3.31現在)



(第3回在宅医療を考える会(1/30))



(介護支援専門員等との連携会議(2/19))

取組の概要・参加団体

①診診連携

在宅医療に係る医療機関を増やしていくために、在宅医療に対する知識を深めるための勉強会を開催し、具体的なグループ化に向けた仕組みを検討する。

医師会

取組状況

- 9/19 「第1回在宅医療を考える会」
 - 12/16 「第2回在宅医療を考える会」
 - 1/30 「第3回在宅医療を考える会」
 - 2/19 「介護支援専門員等との連携会議」
- ※各回、区休日急患診療所で開催。